

2025年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

国際日本学研究科 国際日本学専攻 (博士前期課程)

科 目： 専門科目 【多文化共生・異文化間教育研究領域】

注意1) 解答用紙は、指定された用紙を使用しなさい。その際、問題番号を明記すること。

(例 I-(1)、Ⅱ-(2))

注意2) 希望指導教員の所属する研究領域の問題を解答すること。

I. 論述問題

次の2題のうち1題を選択して、論述しなさい (字数の制限はありません)。

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、国際的な対面交流の機会が制限される中、多文化共修の方法のひとつとして、COIL(Collaborative Online International Learning)が発展してきた。COIL の特徴を述べ、異なる文化的背景を持つ学習者の協同的な学びを深めるためのCOIL実践上の工夫と課題について論じなさい。
- (2) 人工知能(AI)が急速に発展する中、教育手法が大きく変わりつつある。異文化間教育学の分野においても、AIの活用が重要な研究および実践の課題となっている。異文化間教育学において、AIがどのように活用されるのか、また、どのような課題が生じうるのかを考察し、今後の方向性を論じなさい。

Ⅱ. 解説問題

次の(1)～(4)の中から2つを選んで、解説しなさい (字数の制限はありません)。

- (1) 当事者研究
- (2) 女性活躍推進法
- (3) 体験学習の循環過程(Experiential Learning Cycle)
- (4) 文化本質主義(Cultural Essentialism)